

授業科目の区分等：教職科目 総合的な学習の指導法等

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年	1	選択
担当教員			
菅原 亮芳・下山 寿子(複数)			
C(商学部)	T(教職科目)	ED(教育)	
授業のねらい(概要)	菅原亮芳・下山寿子(複数) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 (1) 講義及び課題についてのグループ協議・演習・ディスカッション・発表、「事後検」等により授業を進める。 (2) 高等学校における教科横断的な学習指導の理論と方法に関する基本的な知識と技能を教授し、求められる教師の力量について考えることをねらいとする。 〔テーマ〕「これから求められる真の学力とは何か」		
授業計画	第1回 オリエンテーション/今、なぜ「総合的な学習の時間」か・進め方・成績評価の方法(担当教員:菅原・下山) 予習(時間):シラバス熟読(30) 復習(時間):本科目の内容確認(30) 第2回 「総合的な学習の時間」の意義と教育課程上の役割(担当教員:菅原・下山) 予習(時間):教科書・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120) 第3回 「総合的な学習の時間」で育てたい資質能力とは(担当教員:菅原・下山) 予習(時間):教科書・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120) 第4回 「総合的な学習の時間」の目標と各学校の目標・内容の考え方と留意点(担当教員:菅原・下山) 予習(時間):教科書・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120) 第5回 各教科等と関連した年間指導計画の作成の仕方[演習形式](担当教員:菅原・下山) 予習(時間):教科書・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120) 第6回 主体的・対話的で深い学びを実現する単元計画と学習課題の設定[演習形式](担当教員:菅原・下山) 予習(時間):教科書・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120) 第7回 探究学習の過程と学習指導の手立て(担当教員:菅原・下山) 予習(時間):教科書・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120) 第8回 「総合的な学習の時間」の評価の方法と留意点(担当教員:菅原・下山) 予習(時間):教科書・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容の総まとめ(120)		
授業を通して身に付けることができる能力(DP)	商学部 1. 職業人的倫理観を持ち、組織で協働できる能力 3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力		
到達目標	「総合的な学習の時間」の(1)意義と教育課程上の役割、(2)育てたい資質能力、(3)各学校の目標と内容の考え方と留意点、(4)各教科と連動した年間指導計画の作成方法、(5)主体的・対話的で深い学びを実現する単元計画の作成方法、(6)探究学習の学習の過程と学習指導の手立て、(7)「総合的な学習の時間」の評価の方法と留意点をそれぞれ理解し、概要と要点を説明でき、実践できる力量を考えられる。		
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題に必要に応じて適宜手直しし指導助言し返却することもある。		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・教職を目指す学生としての自覚をもち、積極的な授業参加が求められる。 ・基本的には講義形式を中心とするが、テーマによってはグループ学習などを導入する場合もある。 ・プリント教材を多く用いるので当該科目独自のファイルを作成すること。 ・新聞や雑誌、TV等での教育関係記事や番組に留意すること。 ・シラバスや配付資料を読み、予習・復習を行うこと。 		
成績評価の方法・基準	①最終レポート(定期試験として)60%、②レポート課題30%、③学修意欲10%		
教科書	高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編・文部科学省・平成30年7月・270円		
参考書・教材	【参考書】高等学校学習指導要領・文部科学省・平成30年3月 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開・文部科学省・2013年 【教材】各年度の『検証教育実習』と『省察集』を携帯すること。		
備考	他の科目の遠隔授業の実施時期に準じた形で適宜、遠隔授業、課題研究を含んで実施する。 「定期試験」は「最終レポート」である。実施方法の詳細と評価規準は第1回で概要を授業等で告知する。		
教員との連絡方法	オフィスアワー		